



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8129 URL <https://www.tohohd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員CEO (氏名) 枝廣 弘巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営戦略本部長 (氏名) 河村 真 (TEL) 03(6838)2803  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,183,158	1.8	12,422	△13.3	14,168	△11.7	14,448	40.9
2025年3月期第3四半期	1,162,052	3.8	14,329	23.7	16,052	17.9	10,252	△23.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 16,043百万円( -18.0%) 2025年3月期第3四半期 13,590百万円( -9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 錢	円 錢
2026年3月期第3四半期	227.05	216.58
2025年3月期第3四半期	161.63	145.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円		百万円		%	
2026年3月期	826,097		268,939		32.5	
2025年3月期	722,805		256,897		35.5	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 268,690百万円 2025年3月期 256,654百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2026年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2026年3月期(予想)	—	45.00	—	75.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 錢
通期	1,572,000	3.5	20,700	9.3	22,600	9.1	15,700	△20.9
								245.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社ケイ・クリエイト、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	73,025,942株	2025年3月期	73,025,942株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	8,324,110株	2025年3月期	10,422,804株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	63,635,669株	2025年3月期3Q	63,434,461株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

医薬品業界においては、2025年4月に全品目の53%を対象とした薬価の中間年改定が実施されたことに加え、不採算品再算定の特例的適用や最低薬価の引き上げなどが行われました。また、5月に薬機法が改正され、市販薬の販売規制緩和や医療用医薬品の安定供給体制の強化、調剤業務の一部外部委託をはじめとする薬局機能の強化などが2025年11月以降段階的に施行されることとなり、医療提供体制・医薬品流通の変革がさらに加速するものと予想されます。当第3四半期の医療用医薬品市場は、コロナ関連製品が引き続き縮小したものの、抗がん剤やスペシャリティ医薬品、糖尿病治療薬、帯状疱疹ワクチンなどが伸長し、前年を上回る成長となりました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画2023-2025「次代を創る」の最終年度として、2024年11月に発表した実行計画に基づき、コア事業である医薬品卸売事業の収益性・生産性向上を図るための施策を推進しています。

事業変革においては、事業基盤のさらなる強化に向け、DXによる経営管理機能の高度化、営業・物流体制の効率化、および重点領域への戦略的アプローチを推進するとともに、チーム制への移行準備を進めております。

また、2027年度にメーカー物流倉庫と卸物流倉庫を併設した複合型物流センター「TBC東海」を新設するほか、東北地方にも新たな物流拠点の開設を計画しております。全国の主要都市圏に物流拠点を配置することで、全国をカバーする強靭な医薬品供給体制を構築するとともに、両センターの稼働で物流の抜本的改革を達成し、競争優位性を確立してまいります。

顧客支援ビジネスについては、診療予約システム「LXMATE HeLios」において、医療機関のニーズに即した新たなラインナップを拡充しました。10月にリリースした「LXMATE HeLios cloud プロフェッショナル版」は、GMOリザーブプラス株式会社とのアライアンスにより実現した高機能モデルで、予約管理に加え、医療機関の経営効率化にも貢献する機能を備えています。

また、当社は、成長戦略の一環として、オープンイノベーションを推進することで既存事業の強化に加えて、次世代を担う新たな事業創出を目的とし、CVCファンド「TOHO Ventures」を設立しました。本ファンドは、創薬・バイオテクノロジー領域および医療DXを中心に、主に海外の先進的スタートアップへの投資を行う予定です。

サステナビリティ経営については、人的資本経営の一層の推進に向け、2025年7月から12月にかけて経営層と従業員が直接対話するタウンホールミーティングを合計27回開催しました。今後は、対話から得られた課題や提言を経営施策に反映させるとともに、エンゲージメントのさらなる向上につなげていく方針です。

ガバナンスについては、ガバナンス体制のさらなる高度化に向け、推進責任者であるCGO（チーフ・ガバナンス・オフィサー）がその役割を果たせる体制を構築しました。その一環として、従来の「関係会社管理部」を「グループガバナンス部」へと再編・改称し、グループ全体を俯瞰した統治機能の強化と、迅速な意思決定を支援する基盤を整備しております。

資本効率の改善と株主還元の向上については、「DOE（株主資本配当率）2%以上を見据え安定的に向上」との配当方針に沿って、今年度の年間配当金を前年度より25円増配し90円（中間・期末各45円）としておりましたが、さらに本日の取締役会において、期末配当については期初予想の1株当たり45円から30円増配の75円とし、年間配当金は前年度より55円増配の120円とすることを決定いたしました。また、2025年5月に100億円を上限とする自己株式取得を決議し、11月18日をもって1,992千株（取得総額9,999百万円）を取得し、終了いたしました。加えて、12月19日の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」でお知らせしたように、政策保有株式の継続的な売却を進めております。

さらに、第2四半期の決算説明会で説明した通り、2024年11月に経営戦略委員会での検証結果として公表した実行計画に基づくトランスフォーメーションを加速すべく、経営戦略委員会を2025年11月から再開しました。同委員会では、企業価値最大化のための戦略的アライアンス、収益性に基づくポートフォリオの再編、業務プロセス改革などの変革を実現するために重要と定めた複数の課題に対し、施策の迅速な検討と実施を進めております。また、新中期経営計画策定の進捗状況の確認と必要に応じた軌道修正を行うとともに、短期のみならず中長期的な企業価値最大化の方策を社外取締役、外部有識者、外部アドバイザーの視点も交え、聖域なく検証しております。その結果については2026年4月に公表することを予定しております。

当第3四半期の連結業績は、売上高1,183,158百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益12,422百万円（前年同期比13.3%減）、経常利益14,168百万円（前年同期比11.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14,448百

万円（前年同期比40.9%増）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

＜医薬品卸売事業＞

コロナ関連製品およびHPVワクチンの需要減少があった一方で、スペシャリティ医薬品をはじめとする取扱卸限定製品の売上が引き続き好調に推移しました。顧客支援ビジネスについては、診療予約システム「HeLios」の予約・受付機能に集患や経営データ分析機能等を追加した、「LXMATE HeLios cloud プロフェッショナル版」をリリースするとともに、医療機関検索サイト「病院なび」のPRサービスの契約獲得にも注力しました。その結果、当第3四半期の医薬品卸売事業の売上高は1,139,827百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益（営業利益）は12,309百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

＜調剤薬局事業＞

調剤報酬改定への対応を進め、マイナ保険証利用促進による医療DX推進体制整備加算の獲得、かかりつけ薬剤師指導実施率の向上、在宅医療などに取り組みました。さらに省人化と薬剤師の対人業務の充実を図るため、処方箋入力センターを設置し、各店舗の処方箋入力業務を集約化しています。

その結果、当第3四半期の業績は、売上高は75,394百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,179百万円（前年同期比60.6%増）となりました。

＜医薬品製造販売事業＞

12月にジェネリック医薬品1成分3品目を新たに発売しました。また、TBCダイナベースと同一施設内に、低温や抗体医薬品を含むバイアル製剤などを主とした検査・包装及び保管業務が行える医療用医薬品二次包装施設「羽田パッケージングセンター」を開設し、今年度中に受託を行うべく準備を進めています。

当第3四半期の業績は売上高8,750百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益（営業利益）167百万円（前年同期比69.2%減）となりました。

＜その他周辺事業＞

その他周辺事業においては、売上高は5,303百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益（営業利益）は681百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## （2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて19.1%増加し、653,768百万円となりました。これは、現金及び預金が36,185百万円、受取手形及び売掛金が48,022百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、172,328百万円となりました。これは、有形固定資産が1,210百万円増加し、投資その他の資産が2,785百万円減少したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて14.3%増加し、826,097百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.1%増加し、530,307百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が107,704百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて35.9%減少し、26,850百万円となりました。これは、社債が11,327百万円、独占禁止法関連損失引当金が4,849百万円それぞれ減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて19.6%増加し、557,158百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、268,939百万円となりました。これは、利益剰余金が8,404百万円増加し、自己株式が2,045百万円減少したこと等によります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	86,533	122,718
受取手形及び売掛金	332,491	380,514
有価証券	—	6,995
商品及び製品	90,787	98,642
原材料及び貯蔵品	207	214
その他	39,312	44,975
貸倒引当金	△385	△292
流动資産合計	548,946	653,768
固定資産		
有形固定資産	86,844	88,055
無形固定資産		
のれん	193	111
その他	5,893	6,019
無形固定資産合計	6,087	6,131
投資その他の資産		
その他	82,468	79,542
貸倒引当金	△1,541	△1,400
投資その他の資産合計	80,927	78,141
固定資産合計	173,858	172,328
資産合計	722,805	826,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	397,722	505,426
短期借入金	1,717	1,654
未払法人税等	5,879	2,953
賞与引当金	3,583	1,964
役員賞与引当金	42	39
その他	15,062	18,269
<b>流動負債合計</b>	<b>424,008</b>	<b>530,307</b>
<b>固定負債</b>		
社債	13,081	1,754
長期借入金	4,478	4,251
債務保証損失引当金	286	408
退職給付に係る負債	2,764	2,815
資産除去債務	2,958	3,005
独占禁止法関連損失引当金	4,849	—
その他	13,480	14,616
<b>固定負債合計</b>	<b>41,899</b>	<b>26,850</b>
<b>負債合計</b>	<b>465,907</b>	<b>557,158</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>10,649</b>	<b>10,649</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>45,212</b>	<b>45,212</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>218,932</b>	<b>227,336</b>
<b>自己株式</b>	<b>△28,819</b>	<b>△26,774</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>245,975</b>	<b>256,425</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>15,089</b>	<b>16,674</b>
<b>土地再評価差額金</b>	<b>△4,409</b>	<b>△4,409</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>10,679</b>	<b>12,265</b>
<b>新株予約権</b>	<b>126</b>	<b>123</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>116</b>	<b>125</b>
<b>純資産合計</b>	<b>256,897</b>	<b>268,939</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>722,805</b>	<b>826,097</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,162,052	1,183,158
売上原価	1,070,935	1,091,644
売上総利益	91,117	91,514
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	34,377	35,226
賞与引当金繰入額	1,872	2,060
役員賞与引当金繰入額	33	39
退職給付費用	251	332
福利厚生費	6,047	6,213
車両費	763	761
貸倒引当金繰入額	143	△110
減価償却費	4,034	4,064
のれん償却額	122	82
賃借料	5,959	6,112
租税公課	1,493	1,480
仮払消費税の未控除費用	5,129	5,648
その他	16,559	17,179
販売費及び一般管理費合計	76,788	79,092
営業利益	14,329	12,422
営業外収益		
受取利息	67	112
受取配当金	875	855
持分法による投資利益	171	173
不動産賃貸料	613	613
その他	411	467
営業外収益合計	2,140	2,223
営業外費用		
支払利息	32	40
不動産賃貸費用	133	131
債務保証損失引当金繰入	131	122
その他	120	183
営業外費用合計	417	476
経常利益	16,052	14,168

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	4	1,395
投資有価証券売却益	0	4,813
抱合せ株式消滅差益	22	—
その他	0	597
<b>特別利益合計</b>	<b>28</b>	<b>6,806</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	58	249
減損損失	33	—
投資有価証券評価損	3	181
その他	7	0
<b>特別損失合計</b>	<b>102</b>	<b>430</b>
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>15,978</b>	<b>20,544</b>
法人税、住民税及び事業税	4,983	4,607
法人税等調整額	731	1,479
法人税等合計	5,714	6,087
<b>四半期純利益</b>	<b>10,263</b>	<b>14,457</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	9
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>10,252</b>	<b>14,448</b>

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	10,263	14,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,357	1,554
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	30
その他の包括利益合計	3,326	1,585
四半期包括利益	13,590	16,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,579	16,033
非支配株主に係る四半期包括利益	10	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	医薬品製造 販売事業 (百万円)	その他 周辺事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,084,169	72,200	1,969	3,712	1,162,052	—	1,162,052
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	37,201	20	6,692	1,399	45,313	△45,313	—
計	1,121,371	72,220	8,662	5,111	1,207,365	△45,313	1,162,052
セグメント利益	14,262	734	543	513	16,054	△1,724	14,329

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるもの  
あります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	医薬品製造 販売事業 (百万円)	その他 周辺事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,101,630	75,392	2,009	4,126	1,183,158	—	1,183,158
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	38,197	2	6,741	1,176	46,117	△46,117	—
計	1,139,827	75,394	8,750	5,303	1,229,276	△46,117	1,183,158
セグメント利益	12,309	1,179	167	681	14,337	△1,914	12,422

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるもの  
あります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,313百万円	4,420百万円
のれんの償却額	122百万円	82百万円